

「めぐこ」- アジアの子どもたちの自立を支える会 -

JUMPIN'

2021年

2月号



- CONTENTS -

- p.2 顧問・代表挨拶
- p.3-4 新幹部紹介
- p.5-6 チャリティーイベントのご報告
- p.7 ご寄付のご案内
- p.8 2020年度会計報告に関するお知らせ

上智大学学生主体NGO

MEGUK 

—アジアの子どもたちの自立を支える会—

顧問・代表挨拶

- 顧問 - ジョン・ジョセフ・プテンカラム

皆さまのご健勝を2021年度の新年にお祈り申し上げます。コロナ禍により、私たちの「日常」は大きく揺らぎました。「めぐこ」メンバーは、様々な活動をするにあたり、直接会って計画を立て、実行することができませんでした。私たちは、私たちを取り巻く社会がとても弱く、深く傷つきやすいものであることに気づかされました。そして私たちは皆、同じ船に乗っている同志であることに気づきました。

この時間を利用して、人生をより深く考え、再度、自己を見つめ直した人もいます。また、多くの人々は孤独や疎外を感じながら、このコロナ禍を過ごしました。しかしながらそれと同時に、他者を思いやる心や自己犠牲、連帯感といった、様々な感情も生まれました。そして、家族や友人をはじめ、人とのつながりの大切さを再認識することもできました。今年は一団体として、学生たちが新しい方向性を見出し、何をすべきかを熟考して行動に移していけることを願っています。

「めぐこ」は今後ともインドとフィリピンの子どもたちの教育支援を続けてまいります。これはSMSに対する支援者様のご理解とご協力あってのものであり、感謝を申し上げます。2021年に希望が満たされることを願っております。



- 代表 - 大木敬与

皆様、こんにちは。「めぐこ」- アジアの子どもたちの自立を支える会 - 代表に就任いたしました、総合人間科学部教育学科2年の大木敬与と申します。1975年に発足した「めぐこ」は、今年度で46年目を迎えることができました。昨年度は、COVID-19の感染拡大の影響で例年通りの活動が制限されてしまいましたが、そのような状況下でもクラウドファンディングの開始やオンラインイベントの開催など今の自分たちにできることを考えて、新たな成長をすることができました。これら活動を成功させることができたのも、支援者様のご協力があったことです。改めて日々のご協力に感謝申し上げます。

今年度もCOVID-19の感染は留まることを知りませんが、現地の子どもたちや支援者様に思いを馳せ、メンバー一同で新たな挑戦をしていきたいと思っております。また、感染状況を鑑みながら、少しずついつもの「めぐこ」の勢いを取り戻していきたいと思っております。

今年度も皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。苦しい状況が続いておりますが、どうぞご自愛ください。

